

# 第1章 はじめに

## 1.1 計画の背景と目的

大崎上島町は、瀬戸内海中央の芸予諸島に浮かぶ大崎上島、生野島と長島等の島々からなり、旧大崎町、旧東野町、旧木江町の3町が平成15年に合併してできた町です。町の人口は、平成22年4月時点で8,609人ですが、昭和60年の約6割にまで減少しています。また、高齢化の進展も著しく高齢化率（人口に占める65歳以上の人の割合）は、40%を上回っています。

このような人口減少下の高齢化社会において、本町ではいわゆる「買物難民」「通院難民」の増加が懸念されている状況です。

また一方で、本町では、海上交通が日常生活に欠かすことのできない交通手段です。しかし、利用者の減少や燃料の高騰等により、航路事業者の経営環境は圧迫されており、その結果、減便・運休・廃止が余儀なくされるとともに、町の財政負担も増加しています。

このような状況を踏まえ、大崎上島町をより活性化し、町民の安全で快適な移動手段を将来にわたり持続的に確保するために、公共交通整備の計画である「大崎上島町公共交通総合連携計画」を策定します。

## 1.2 これまでの主な取り組み

現在までの大崎上島町の交通に関する動きは、以下の通りです。

表 1.1 交通に関する町の動き

時期	内容
平成15年4月	旧大崎町、旧東野町、旧木江町の3町が合併し、大崎上島町誕生
平成17年3月	大崎上島町第1次長期総合計画策定
平成17年11月	おと姫バス運行開始
平成18年8月	今治～小長～明石航路のうち今治～小長間を廃止
平成20年1月	三原～大崎上島～大長航路廃止
平成20年7月	安芸津港～大西港のうち大串港を経由する便を廃止
平成20年9月	大崎上島町生活交通再編計画策定
平成21年3月	竹原～大長間の運航をしまなみ海運株式会社に移管
平成21年4月	路線バス（さんようバス（株））路線再編（循環バス化）
平成21年11月	明石～小長間の運航をしまなみ海運株式会社に移管